

## ま え が き

今回の財政状況の公表は、令和2年度下半期の財政状況について公表するものです。

具体的には、令和2年10月以降における一般会計及び特別会計の予算の状況及び執行状況を中心に市税負担状況、市債、基金、一時借入金の状況について公表するほか、地方公営企業法適用会計である水道事業会計、温泉事業会計及び下水道事業会計については、既に決算調製がなされましたので、この状況について公表いたします。

## 令和2年度下半期の財政状況

### 1 一般会計予算の状況

市の基幹会計である一般会計予算の状況は、第1表に示すとおりであります。令和2年度9月末現在の予算額27,170,914千円に対し、その後7回の予算補正を行い、令和2年度最終予算額は、28,301,089千円となっております。

最終予算の歳入においては、主要な財源である市税が7,694,541千円(27.2%)となっており、歳出においては、総務費(27.7%)、民生費(26.5%)、土木費(10.1%)などの構成比率が高くなっております。

### 2 一般会計予算の執行状況

一般会計の予算執行状況は、第2表のように予算額28,301,089千円に対し、3月末現在において、歳入では25,201,760千円(89.0%)、歳出においては24,823,307千円(87.7%)と、378,453千円の黒字となっております。(5月31日までの出納整理期間があるため、決算額ではありません。)

### 3 特別会計の予算及び予算の執行状況

特別会計は、地方公営企業法適用会計である水道事業会計、温泉事業会計及び下水道事業会計を除いて、5会計ありますが、それぞれの会計の予算及び執行状況は、第3表のとおりであります。(5月31日までの出納整理期間があるため、決算額ではありません。)

### 4 市税納入状況

第4表に示すとおり、市税全体での予算額7,694,541千円に対し、調定額は7,884,479千円と189,938千円上回っており、収入済額は7,505,826千円で調定額に対して95.2%の収納率となっております。

### 5 令和2年度と令和元年度との市税収入の比較

3月末における本年度と前年度を比較してみますと、第5表のように予算額においては0.4%、収入済額においては2.6%前年度を下回っております。

## 6 市税の市民負担の状況

市税の一世帯当たり及び一人当たりの負担額は、第6表のとおりです。調定額における一世帯当たりの負担額は、353,153円で前年度より5,740円少なくなり、一人当たりの負担額も159,196円で651円少なくなっております。

## 7 市債の現在高

市の諸事業を行ううえで、一般財源（税等）の不足を補うための長期の借入金である市債現在高は、第7表に示すとおりです。一般会計が19,749,128千円、特別会計が12,209,551千円となっております。

## 8 基金の現在高

基金の現在高は第8表のとおりです。財政調整基金、減債基金のほか、一般会計及び特別会計で20の特定目的基金と3つの定額運用基金があります。

## 9 一時借入金の現在高

一会計年度中に一時的に現金が不足した場合に、支払資金の不足を補うために短期間借入れる一時借入金の3月末現在の残高は、第9表に示すように一般会計、特別会計ともにありません。

## 10 市有財産の状況

市有財産としての土地建物等の面積は、第10表のとおりです。

## 11 水道事業、温泉事業及び下水道事業の決算状況

水道事業、温泉事業及び下水道事業会計は、企業会計であるため3月末をもって事業年度が終わり、既に決算の調製がされましたが、その決算概況は第11表のとおりであります。

### (1) 水道事業

収益的収支においては、117,794千円の余剰（消費税及び地方消費税額を含む。以下同じ。）が生じ、純利益は70,254千円となりました。

資本的収支においては、465,598千円の不足を生じましたが、これは消費税及び地方消費税資本的収支調整額46,593千円、過年度損益勘定留保資金69,078千円、当年度損益勘定留保資金181,831千円、減債積立金168,096千円をもって補填いたしました。

(2) 温泉事業

収益的収支においては、87,966千円の余剰が生じ、純利益は75,104千円となりました。

資本的収支においては、146,561千円の不足を生じましたが、これは消費税及び地方消費税資本的収支調整額12,844千円、過年度損益勘定留保資金129,025千円、減債積立金4,692千円をもって補填いたしました。

(3) 下水道事業

収益的収支においては、273,354千円の余剰が生じ、純利益は256,849千円となりました。

資本的収支においては、981,757千円の不足を生じましたが、これは消費税及び地方消費税資本的収支調整額16,505千円、過年度損益勘定留保資金156,352千円、当年度損益勘定留保資金406,247千円、減債積立金402,653千円をもって補填いたしました。